



（第1面）



産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 12 日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者

住 所 茨城県守谷市野木崎 3456 番
氏 名 株式会社 明治 守谷工場
工場長 多田 雅樹
電話番号 0297-20-6000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 明治 守谷工場
事業場の所在地	茨城県守谷市野木崎 3456 番
計画期間	2024 年 4 月～2025 年 3 月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	43,819 百万円（2023 年度 守谷工場売上高）
③従業員数	195 人（2024 年 4 月 1 日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	※詳細は別紙-1 を参照して下さい 工場 → 収集運搬業者 → 中間処理業者 → 二次処理業者 → 最終処理業者 → 埋立又は再生利用



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

守谷工場では ISO14001 を推進していますので、組織図を添付致します。
別紙-2 を参照して下さい。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】 ※別紙3を参照して下さい		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、RPF、金属くず、ダンボール・紙類等
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状で特に問題はありません

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】 ※別紙4を参照して下さい		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

2023年3月31日

廃棄物名(赤字は修正・追加)	廃棄物大/中/小分類	廃棄物分類	収集・運搬	中間処理1	中間処理2	処分方法	数量確定者	荷姿	リサイクル有無
ガラス、陶磁器	ガラス/不、コンクリート/不及び陶磁器くす	1300	有限会社梅木商会	水海道産業株式会社 石下工場		多用途原材料化	・収集運搬業者	・バラ	○
水エーリキッド(廃酸)	廃酸//	400	株式会社 エコ・フード	株式会社 エコ・フード 処理施設		飼料化	・収集運搬業者	・バラ	○
ヨーグルト容器(協栄物流・協栄産業)	廃プラスチック類//	600	協栄物流株式会社	協栄産業 株式会社 栃木工場		素材再生	・収集運搬業者	・バラ	○
ヨーグルト容器(協栄物流・関商店)	廃プラスチック類//	600	協栄物流株式会社	株式会社 関商店 茨城工場		燃料化	・収集運搬業者	・バラ	○
ヨーグルト容器(協栄産業・関商店)	廃プラスチック類//	600	協栄産業 株式会社	株式会社 関商店 茨城工場		燃料化	・収集運搬業者	・バラ	○
動植物性残渣(廃酸)	廃酸//	400	株式会社 エコ・フード	株式会社 エコ・フード 処理施設		飼料化	・収集運搬業者	・バラ	○
動植物性残渣1	動・植物性残渣//	1000	有限会社梅木商会	株式会社カツタ	中央電気工業 株式会社 産島工場	多用途原材料化	・収集運搬業者	・バラ	○
動植物性残渣2	動・植物性残渣//	1000	有限会社梅木商会	株式会社日の丸商事		焼却	・収集運搬業者	・バラ	×
動植物性残渣3	動・植物性残渣//	1000	株式会社 結南グリーンセンター	株式会社カツタ		最終処分	・収集運搬業者	・バラ	×
動植物性残渣4	動・植物性残渣//	1000	株式会社リフレックス	株式会社アール・アール・シー		素材再生	・収集運搬業者	・バラ	○
廃アルカリ1	廃アルカリ//	500	有限会社梅木商会	株式会社日昇つくば		管理型埋立処分	・収集運搬業者	・バラ	×
廃アルカリ2	廃アルカリ//	500	東武商事 株式会社	東武商事 株式会社 松伏リサイクルセンター		埋立処分	・収集運搬業者	・バラ	×
廃アルカリ3	廃アルカリ//	500	株式会社 ダイセキ	株式会社 ダイセキ		燃料化	・収集運搬業者	・バラ	○
廃プラスチック(残渣付き)	廃プラスチック類//	600	有限会社梅木商会	株式会社日昇つくば	中央電気工業 株式会社 産島工場	多用途原材料化	・収集運搬業者	・バラ	○
廃プラスチック(残渣付き)2	廃プラスチック類//	600	有限会社梅木商会	株式会社あおぞら		燃料化	・収集運搬業者	・バラ	○
廃プラスチック(残渣付き)3	廃プラスチック類//	600	有限会社梅木商会	有限会社柏原材処理センター		燃料化	・収集運搬業者	・バラ	○
廃プラスチック(混合廃棄物)	廃プラスチック類//	600	有限会社梅木商会	株式会社つくばエンバイロメントリユース	株式会社 トクヤマ	素材再生	・収集運搬業者	・バラ	○
廃プラスチック(混合廃棄物)	廃プラスチック類//	600	有限会社梅木商会	クリーンテックシオガイ株式会社		素材再生	・収集運搬業者	・バラ	○
廃油	廃油//	300	株式会社 TOAシンプル	株式会社 TOAシンプル		素材再生	・収集運搬業者	・バラ	○
汚泥	汚泥(泥状のもの)//	200	有限会社梅木商会	株式会社日昇つくば		再生	・収集運搬業者	・バラ	○
汚泥・廃酸	廃酸//	400	有限会社梅木商会	日立セメント株式会社		燃料化	・収集運搬業者	・バラ	○
汚泥・廃酸4	廃酸//	400	東武商事 株式会社	東武商事 株式会社		素材再生	・収集運搬業者	・バラ	○
液抜きPET	廃プラスチック類//	600	協栄産業 株式会社	協栄産業 株式会社 栃木工場		素材再生	・収集運搬業者	・バラ	○
紙/パック・プラ容器製品(動植物性)	動・植物性残渣//	1000	株式会社 エコ・フード	株式会社 エコ・フード 処理施設		飼料化	・収集運搬業者	・バラ	○
蛍光灯	水銀使用製品産業廃棄物/照明機器/蛍光灯	2522	有限会社梅木商会	株式会社リフレックス	関西環境建設株式会社	埋立処分	・収集運搬業者	・バラ	×
金属屑	金属くず//	1200	有限会社梅木商会	クリーンテックシオガイ株式会社		素材再生	・収集運搬業者	・バラ	○
RPF(発泡スチロール等)	廃プラスチック類//	600	有限会社梅木商会	株式会社 関商店 茨城工場		燃料化	・収集運搬業者	・バラ	○
強酸	特定産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)/pH2.0以下の廃酸//	7520	新日本環境整備 株式会社	新日本環境整備 株式会社 処理施設		焼却	・収集運搬業者	・バラ	×

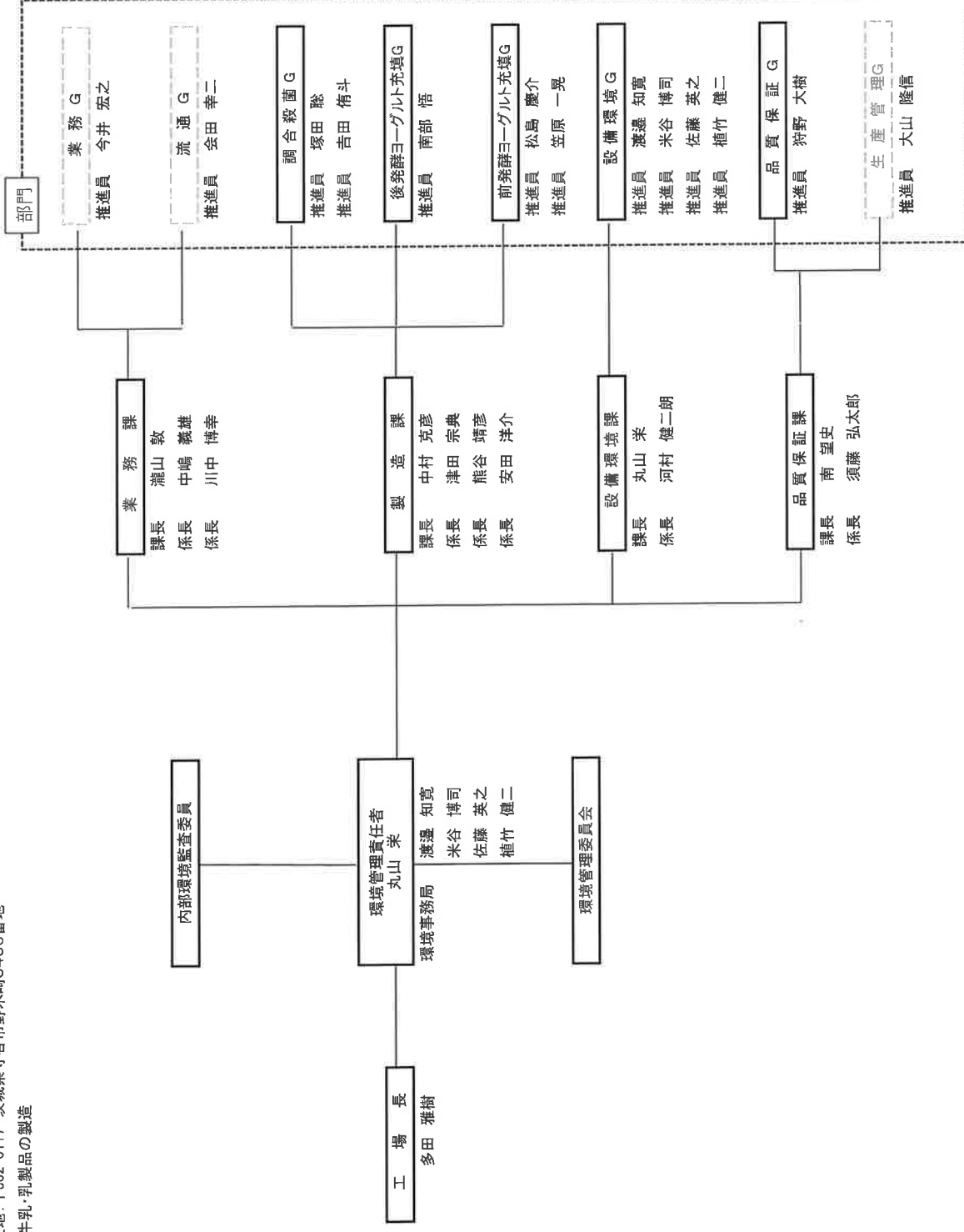
守谷工場 ISO14001組織図

事業所在地：〒302-0117 茨城県守谷市野木崎3456番地

適用範圍：牛乳・乳製品の製造

作成日: 2024年 4月 1日

別紙2



※ 目標設定部門

※ 維持管理部門

	【前年度(2023年度)実績】											
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃酸	動植物性残渣	汚泥	混合廃棄物	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	蛍光灯(水銀使用 製品産業廃棄物)	廃油	廃アルカリ	廃乾電池
	排出量(t)	229.43	861.96	187.69	14.63	58.35	17.04	2.84	0.19	0.585	0	0
①現状	(これまでに実施した取り組み)											
	1. 冷蔵倉庫での適切な在庫管理による製品廃棄の削減と、場内処理の強化。 2. 生産ラインの機械稼働率向上による製品廃棄、包材ロスの削減。											
	【目標】											
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃酸	動植物性残渣	汚泥	混合廃棄物	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	蛍光灯(水銀使用 製品産業廃棄物)	廃油	廃アルカリ	廃乾電池
	排出量(t)	220	100	200	10	60	18	1	0.2	1	0.5	0.1
②計画	(今後実施する予定の取り組み)											
	1.生産設備の保全管理を徹底し、生産工程における工程異常を減少させることで廃棄物の削減に努めます。 2.場内での破碎処理方法及び、包材の引取り先の見直しを検討しています。											

【前年度(2023年度)実績】											
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃酸	動植物性残渣	汚泥	混合廃棄物	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	蛍光灯(水銀使用 製品産業廃棄物)	廃油	廃アルカリ	廃乾電池
全処理委託量(t)	229.43	861.96	187.69	14.63	58.35	17.04	2.84	0.19	0.585	0	0
優良認定処理業者への 処理委託量											
再生利用業者への 処理委託量	229.43	861.96	187.69	14.63	58.35	17.04	2.84	0.19	0.585	0	0
認定熱回収業者への 処理委託量											
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量											
(これまでに実施した取り組み) 全量、再生利用業者へ処理を委託しました。 製品の、ラインアウト品発生抑制に取り組みました。											

【目標】											
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃酸	動植物性残渣	汚泥	混合廃棄物	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	蛍光灯(水銀使用 製品産業廃棄物)	廃油	廃アルカリ	廃乾電池
全処理委託量(t)	220	100	200	10	60	18	1	0.2	1	0.5	0.1
優良認定処理業者への 処理委託量											
再生利用業者への 処理委託量	220	100	200	10	60	18	1	0.2	1	0.5	0.1
認定熱回収業者への 処理委託量											
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量											
(今後実施する予定の取り組み) 生産工程におけるトラブルを予防し、廃棄物の削減に努めます。											

【目標】											
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃酸	動植物性残渣	汚泥	混合廃棄物	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	蛍光灯(水銀使用 製品産業廃棄物)	廃油	廃アルカリ	廃乾電池
全処理委託量(t)	220	100	200	10	60	18	1	0.2	1	0.5	0.1
優良認定処理業者への 処理委託量											
再生利用業者への 処理委託量	220	100	200	10	60	18	1	0.2	1	0.5	0.1
認定熱回収業者への 処理委託量											
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量											
(今後実施する予定の取り組み) 生産工程におけるトラブルを予防し、廃棄物の削減に努めます。											

